

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.04.11

バージョン番号: 9

改訂日: 2023.04.11

項目 1: 化学品及び会社情報

- ・製品識別子
- ・化学品の名称 EBR PG
- ・製品コード G042075
- ・該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 追加的な関連情報は得られていません。
- ・用途部門 SU16 コンピュータ、電子、光学製品、電気機器の製造
- ・製品カテゴリー PC21 Laboratory chemicals
- ・推奨用途 溶剤
- ・安全データシートの供給元の詳細情報
- ・供給者の会社名称、住所及び電話番号
Kayaku Advanced Materials, Inc.
200 Flanders Road
Westborough, MA 01581
Tel: (617) 965-5511
Fax: (617) 965-5818
- ・その他の情報問い合わせ先:
Product Safety
Email: productsafety@kayakuam.com
- ・緊急連絡電話番号
Kayaku Advanced Materials : 617-965-5511
Chemtrec USA Emergency : 800-424-9300 (24 hr)
Chemtrec International Emergency : 703-527-3887 (24 hr)

項目 2: 危険有害性の要約

- ・化学品のGHS分類



火炎

引火性液体 区分2

H225 引火性の高い液体及び蒸気



腐食

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1

H318 重篤な眼の損傷



特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3 H336 眠気又はめまいのおそれ

- ・GHSラベル要素 (絵表示又はシンボル, 注意喚起語, 危険有害性情報及び注意書き)

- ・GHS ラベル要素

本製品は GHS (化学品の分類および表示に関する世界調和システム) により分類及び表示されています。

(2 ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.04.11

バージョン番号: 9

改訂日: 2023.04.11

化学品の名称 EBR PG

(1 ページの続き)

絵表示



GHS02 GHS05 GHS07

注意喚起語 危険

危険と定められた成分をラベル表示:

1,3-ジオキソラン

危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気

H318 重篤な眼の損傷

H336 眠気又はめまいのおそれ

注意書き

P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P301+P310 飲み込んだ場合: ただちに毒物センター/医師に連絡すること。

P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の石鹼と水で洗うこと。

P304+P341 吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P370+P378 火災の発生時: 鎮圧の目的で使用: アルコール抵抗泡, 火災消火パウダー, 二酸化炭素。

P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P501 現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器を廃棄すること

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性

PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント

PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし

vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

項目 3: 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

説明: 溶剤混合物

危険な含有成分:

646-06-0	1,3-ジオキソラン 引火性液体 区分2, H225; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1, H318	50-80%
107-98-2	プロピレングリコールモノメチルエーテル 引火性液体 区分3, H226; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H336	5-30%

項目 4: 応急措置

応急手当処置に関する説明

一般情報: 製品で汚れた衣類は速やかに脱ぐこと

(3 ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.04.11

バージョン番号: 9

改訂日: 2023.04.11

化学品の名称 EBR PG

(2 ページの続き)

- ・**吸入した場合**
空気の新鮮な場所に移し休息させる。必要に応じて人工呼吸を行い、患者を温める。症状が良くな
らない場合は、医師に相談する。
- ・**皮膚に付着した場合**
即刻石鹼と水で洗い、よくすすぐ
皮膚の刺激が続く場合には医者 の 診察を受ける
- ・**眼に入った場合**
大量の水または生理食塩水ですぐに目を洗い、化学物質の痕跡がなくなるまで (約 20 分) 上下のまぶ
たを上げ下げします。コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は速やかに外す。直ちに医師の
診察を受ける。
- ・**飲み込んだ場合** 状態が好転しない場合には医師に相談する
- ・**急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状** 追加的な関連情報は得られていません。
- ・**緊急な医療処置や特別な治療法がある場合の表示** 症状に応じた治療を行う。

項目 5: 火災時の措置

- ・**消火剤**
- ・**適切な消火剤**
耐アルコール性泡
粉末消火剤
ABC 粉末
- ・**使ってはならない消火剤** 全開状態で放水
- ・**本化学物質または混合物から発生する特別な危険性**
火災の際に以下の成分が遊離する可能性あり
Formaldehyde
爆発性ガス - 空気混合物を形成する可能性あり
容器が極度の熱にさらされるとき圧力上昇によって容器は爆発する可能性あり。蒸気は着火源まで、
かなりの距離を移動し蒸気の軌跡に沿ってフラッシュバックする可能性があります。
- ・**消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置**
- ・**特別な保護装備:** 酸素ボンベ付き呼吸保護装備を着用

項目 6: 漏出時の措置

- ・**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**
十分な換気を心がける
発火源は遠ざける
蒸気/埃/エアロゾルの作用から保護するためにマスクを着用
防護服を着用。防護服を着用していない人は近づけない
- ・**環境に対する注意事項**
大量の水で薄める
下水処理施設、地上水あるいは地下水に達しないようにする
- ・**封じ込め及び浄化の方法及び機材**
液体吸収材 (砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず) で吸収する
十分な換気を心がける
- ・**他のセクションへの言及**
安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照
人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照
廃棄処分に 関しては 13 項参照

JP

(4 ページに 続 く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.04.11

バージョン番号: 9

改訂日: 2023.04.11

化学品の名称 EBR PG

(3 ページの続き)

項目 7: 取扱い及び保管上の注意

- ・**取扱い**
 - 熱や直射日光を避ける
 - 部屋全体の換気を心がける、特に床部分の換気に注意する(蒸気は空気よりも重いため)
 - エアロゾルの発生を防ぐ
- ・**火災および爆発防止に関する注意事項:**
 - 着火元は遠ざける。禁煙
 - 高温から保護する
 - 防爆装置、器具および火花を出さない工具を使用する
 - 静電気を防ぐ措置を施す
- ・**混融危険性を含めた安全貯蔵条件**
- ・**保管**
 - ・**保管スペースおよび容器に関する要求事項:**
 - 不活性雰囲気中で保存するか、または過酸化物質やその他の酸化製品の形成を防ぐために密封しておく。
 - 涼しい場所に保管する
 - ・**同じ場所に保管する際の注意事項:**
 - アルカリ(アルカリ液)とは一緒に保管しない
 - 酸化性、酸性成分とは一緒に保管しない
 - ・**保管条件に関するその他の注意事項:**
 - 容器は密閉した状態に保つ
 - 容器を密閉して涼しく乾燥した場所に保管する
 - 熱および直射日光は避ける
- ・**特定の最終用途** Positive radiation resist edge bead remover

項目 8: ばく露防止及び保護措置

- ・**許容濃度等**
- ・**作業場において限界値の監視を要する成分:**
 - このプロダクトは作業場において監視する必要がある限界値を持つ成分は含まれていない
- ・**追加注意事項:** 生成時に有効なリストがもとになっている
- ・**設備対策**
- ・**技術設備の形体に関する追加注意事項:** その他のデータなし、7項参照
- ・**保護具**
 - ・**一般防止措置および衛生措置:**
 - 飲食物から遠ざけること
 - すぐに汚れた汚染された衣服をすべて取り除いてください
 - 休憩前、作業終了後には手を洗う
 - 目に入らないよう、また皮膚に接触しないよう注意する
 - ガス・蒸気・エアゾールは吸い込まない
 - ・**呼吸保護器具:** 換気が不十分な場合には呼吸保護マスク着用
 - ・**手の保護:**



保護手袋

(5 ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.04.11

バージョン番号: 9

改訂日: 2023.04.11

化学品の名称 EBR PG

(4 ページの 続き)

手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して不透過性及び耐性でなければならない
 浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する

手袋材

ブチ - ルゴム
 ニトリルゴム、NBR

手袋材の浸透時間

正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること

眼の保護:



密閉式保護めがね

項目 9: 物理的及び化学的性質

基本的な物理及び化学特性に関する情報

一般指示事項

物理状態

液状

色

クリアからライトイエロー

臭い

特徴的

嗅覚閾値

決まっていない

融点 / 凝固点

決まっていない

沸点又は初留点及び沸点範囲

75 °C

可燃性

情報なし

爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界

下限:

2.1 Vol %

上限:

20.5 Vol %

決まっていない

引火点 (クローズドカップ)

<7.5 °C

発火温度:

270 °C

分解温度

決まっていない

pH

決まっていない

粘性:

動粘性率

決まっていない

力学的:

決まっていない

溶解度

水:

完全に混合できる

n-オクタノール / 水分分配係数 (log値)

決まっていない

蒸気圧 約 20 °C

133 hPa

密度及び / 又は相対密度

密度 約 20 °C:

1.0355 g/cm³

相対的密度

決まっていない

蒸気密度

決まっていない

粒子特性

情報なし

その他のデータ

外観

形:

液体

(6 ページに 続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.04.11

バージョン番号: 9

改訂日: 2023.04.11

化学品の名称 EBR PG

(5 ページの続き)

・健康および環境保護ならびに
安全に関する重要な指示事項

・自然発火点
・爆発の危険:

プロダクトは自然発火しない
プロダクトは爆発する危険はない。ただし爆発する危険のある蒸気と空気の混合物を形成する可能性はある

・溶剤含有量:
・有機溶剤:
・状態の変化
・気化速度

50-80 %

Not determined.

項目 10: 安定性及び反応性

- ・反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・化学的安定性 安定
- ・熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- ・危険有害反応可能性
重合
過酸化物が生成せれる可能性あり
- ・避けるべき条件
混色禁止物質との接触。
熱、炎と火花。極端な高温、直射日光。
- ・混触危険物質 強い酸化剤、強酸、強塩基
- ・危険有害な分解生成物
ホルムアルデヒド
一酸化炭素と二酸化炭素

項目 11: 有害性情報

- ・毒性学的影響に関する情報
- ・急性毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

・分類上の LD/LC50 値:

646-06-0 1,3-ジオキソラン

口	LD50	3000 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	8480 mg/kg (rabbit)
吸収	LC50	68.4 mg/L (rat)

107-98-2 プロピレングリコールモノメチルエーテル

口	LD50	5660 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	13000 mg/kg (rabbit)
吸収	LC50/4 h	54.6 mg/l (rat)

- ・皮膚腐食性 / 刺激性 既知の皮膚刺激性ではない
- ・眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性
重篤な眼の損傷
- ・呼吸器感作性又は皮膚感作性 情報なし
- ・生殖細胞変異原性 情報なし
- ・発がん性 情報なし
- ・生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

(7 ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.04.11

バージョン番号: 9

改訂日: 2023.04.11

化学品の名称 EBR PG

(6 ページの続き)

- ・特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
眠気又はめまいのおそれ
- ・特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 情報なし
- ・呼吸器に危険 情報なし
- ・誤えん有害性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・人体における経験値: これ以上の関連情報はありませ

項目 12: 環境影響情報

・毒性

・水生生物に対する毒性:

646-06-0 1,3-ジオキソラン

□ 14 day NOEC	>1000 mg/l (algae)
EC50	7650 mg/kg (daphnia magna)
LC50 48 hr	12000 mg/L (Sheepshead minnow)

107-98-2 プロピレングリコ-ルモノメチルエ-テル

EC50 96 hr	23300 (daphnia magna)
	>1000 (green algae)
LC50/96 h	20800 mg/l (Pimephales promelas)

- ・残留性・分解性 各構成要素は生物分解できる
- ・生態蓄積性
n- オクタノ- ル - 水の分配係数により、組織内での特記すべき蓄積はない
- ・土壌中の移動性
Component: Propylene glycol monomethyl ether, rapid dissipation in soil expected. Koc value between 1 and 50 indicating very high soil mobility.
- ・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント
- ・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし
- ・オゾン層への有害性 情報なし
- ・他の副作用
- ・その他のエコロジーに関する注意事項:
- ・一般注意事項:
水への危険度分類 1 (ドイツの規定) (自己査定): 水に対する危険性はわずかにある
薄めずに、あるいは大量に地下水、河川もしくは下水施設に流してはならない

項目 13: 廃棄上の注意

- ・化学品 (残余廃棄物), 当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
- ・勧告: 家庭ごみとはいっしょに処分できない。下水処理施設に流してはならない
- ・洗浄されていないパッケージ:
勧告: 関係当局の規則に従って処分する
- ・推薦する洗剤: 水、場合に応じて洗剤も使って

(8 ページに続く)

改訂日: 2023.04.11

化学品の名称 EBR PG

(7 ページの続き)

項目 14: 輸送上の注意

・国連番号 ・ADR, IMDG, IATA	UN1166
・品名 (国連輸送名) ・ADR ・IMDG, IATA	1166 DIOXOLANE DIOXOLANE
・国連分類 (輸送における危険有害性クラス) ・ADR, IMDG, IATA	
	
・分類 ・危険物ラベル	3 可燃性液体成分 3
・容器等級 ・ADR, IMDG, IATA	II
・環境危険: ・海洋汚染物質	い い え
・ユーザー用特別予防措置 ・ケムラー符号: ・EMS (電子メールサービスナンバー) 番号:	警告: 可燃性液体成分 33 F-E,S-D
・MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	情報なし
・UN "模範規制:	UN1166, DIOXOLANE, 3, II

項目 15: 適用法令

・該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報 労働安全衛生法 通知対象物質 1,3-ジオキソラン 50-80% プロピレングリコールモノメチルエーテル 5-30% 表示対象物質 1,3-ジオキソラン 50-80% プロピレングリコールモノメチルエーテル 5-30%	
消防法 第四類第一石油類（水溶性液体）危険等級II	
・化審法 ・既存化学物質	
・特定化学物質	
内容成分はリストアップされていない	
・監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質	
646-06-0	1,3-ジオキソラン

(9 ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.04.11

バージョン番号: 9

改訂日: 2023.04.11

化学品の名称 EBR PG

(8 ページの 続き)

・優先評価化学物質

内容成分はリストアップされていない

・白物質

内容成分はリストアップされていない

・PRTR 制度 - 第一種指定化学物質 (令和 5 年度以降の SDS 提供)

内容成分はリストアップされていない

・PRTR 制度 - 特定第一種指定化学物質 (令和 5 年度以降の SDS 提供)

内容成分はリストアップされていない

・PRTR 制度 - 第二種指定化学物質 (令和 5 年度以降の SDS 提供)

内容成分はリストアップされていない

・毒物及び劇物取締法: 劇物

内容成分はリストアップされていない

・毒物及び劇物取締法: 有機シアン化合物から除かれるもの

内容成分はリストアップされていない

・毒物及び劇物取締法: 毒物

内容成分はリストアップされていない

・毒物及び劇物取締法: 特定毒物

内容成分はリストアップされていない

・労働安全衛生法

・危険物

・爆発性の物 (施行令別表第 1 第 1 号)

内容成分はリストアップされていない

・発火性の物 (施行令別表第 1 第 2 号)

内容成分はリストアップされていない

・酸化性の物 (施行令別表第 1 第 3 号)

内容成分はリストアップされていない

・引火性の物 (施行令別表第 1 第 4 号)

内容成分はリストアップされていない

・可燃性のガス (施行令別表第 1 第 5 号)

内容成分はリストアップされていない

・特定化学物質等

・第一類物質

内容成分はリストアップされていない

・第二類物質

内容成分はリストアップされていない

・第三類物質

内容成分はリストアップされていない

・名称等を通知すべき有害物 (別表第 9)

646-06-0 1,3-ジオキソラン

229

107-98-2 プロピレングリコールモノメチルエーテル

496

(10 ページに 続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.04.11

バージョン番号: 9

改訂日: 2023.04.11

化学品の名称 EBR PG

(9 ページの続き)

・製造許可物質

内容成分はリストアップされていない

・鉛中毒予防規則 (施行令別表第 4)

内容成分はリストアップされていない

・四アルキル鉛中毒予防規則 (施行令別表第 5)

内容成分はリストアップされていない

・有機溶剤中毒予防規則第 (施行令別表第 6 の 2)

・第一種有機溶剤等

内容成分はリストアップされていない

・第二種有機溶剤等

内容成分はリストアップされていない

・第三種有機溶剤等

内容成分はリストアップされていない

・強い変異原性が認められた化学物質

内容成分はリストアップされていない

・消防法

全ての内容成分はリストアップされている

・海洋汚染防止法

内容成分はリストアップされていない

・特定物質等の規制等によるオゾン層の保護に関する法律

・特定物質代替物質

内容成分はリストアップされていない

・特定物質

内容成分はリストアップされていない

・大気汚染防止法

646-06-0 | 1,3-ジオキソラン

・水質汚濁防止法

・有害物質

内容成分はリストアップされていない

・指定物質

内容成分はリストアップされていない

・GHS ラベル要素

本製品は GHS (化学品の分類および表示に関する世界調和システム) により分類及び表示されています。

・絵表示



GHS02 GHS05 GHS07

・注意喚起語 危険

(11 ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.04.11

バージョン番号 : 9

改訂日: 2023.04.11

化学品の名称 EBR PG

(10 ページの続き)

・危険と定められた成分をラベル表示:

1,3-ジオキソラン

・危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気

H318 重篤な眼の損傷

H336 眠気又はめまいのおそれ

・注意書き

P210

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。

P261

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P280

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P301+P310

飲み込んだ場合: ただちに毒物センター/医師に連絡すること。

P302+P352

皮膚に付着した場合: 多量の石鹸と水で洗うこと。

P304+P341

吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P333+P313

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P337+P313

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P370+P378

火災の発生時: 鎮圧の目的で使用: アルコール抵抗泡, 火災消火パウダー, 二酸化炭素。

P403+P235

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P501

現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器を廃棄すること

・化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

項目 16: その他の情報

この情報は現在の我々の認識に基づいている。ただし、プロダクトの特性を保証するものではなく、また契約において法的根拠にはならない

・データシート作成部門: Product safety department

・問い合わせ先: Tom Cole, EHS Manager (tcole@kayakuam.com)

・縮約と二文字語:

RID: Règlement international concernant le transport des marchandises dangereuses par chemin de fer (Regulations Concerning the International Transport of Dangerous Goods by Rail)

ICAO: International Civil Aviation Organisation

ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)

LC50: Lethal concentration, 50 percent

LD50: Lethal dose, 50 percent

PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic

vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative

引火性液体 区分2: Flammable liquids – Category 2

引火性液体 区分3: Flammable liquids – Category 3

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1: Serious eye damage/eye irritation – Category 1

特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3: Specific target organ toxicity (single exposure) – Category 3